

知ってる？

ちゅう

仲遺跡群！！

どんな遺跡
なんだろうね！

次のページに
何かあるよ！
見に行ってみよう！

ケンさん

市役所で働いているよ！
歴史や遺跡、考古学のちょっとし
た解説をしてくれるよ！

みっちゃん

ケンさんと一緒に働いているよ！
歴史や遺跡、考古学が大好き！
みんなに遺跡の紹介をするよ！

2025

那珂川市教育委員会

NEXT

はじめに

発掘調査は全国各地で行われており、家や倉庫などの人々が生活していた跡（遺構）や甕、鉢、皿などの道具（遺物）が数多く発見されています。これらの貴重な文化財は、今を生きる私たちの財産として大切に保護していかなければなりません。やむを得ず開発などで壊されてしまうものは、きちんと記録を残し、特に貴重なものはそのまま保存するなど、後世に残していくための手立てを行う必要があるのです。

今回、那珂川市で見つかったたくさんの遺跡のうち仲遺跡群と呼ばれる遺跡を紹介します。この遺跡はどこにあり、いつの時代の遺跡で、どんなものが見つかったのか、一緒に見ていきましょう！

遺跡はどこにあると？

那珂川市の地図



仲遺跡群



私たちがよく知っている
場所にあったんだね！



那珂川市仲にあるとよ！

仲遺跡群は、ミリカローデン那珂川やちくし那珂川病院がある那珂川市仲一帯に広がっています。ミリカローデン那珂川には、遺跡の説明板が立てられており、ちくし那珂川病院入口では発掘調査で出土した遺物の展示が行われています。



遺跡の説明板（ミリカローデン那珂川）



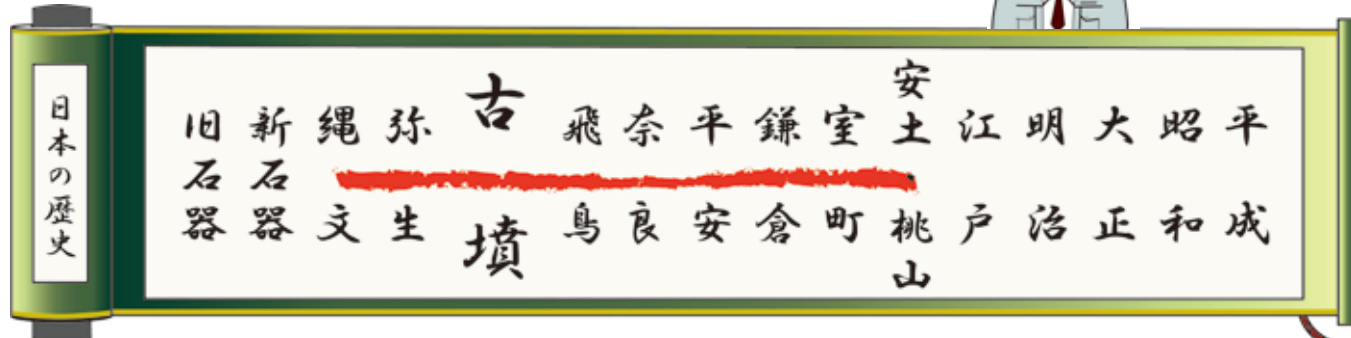
仲遺跡群出土品の展示（ちくし那珂川病院入口）

遺跡の時代はいつになると？

日本の歴史は、下の図のように時代で区分されています。

仲遺跡群は、出土した遺物などによって、縄文時代から中世（赤線の範囲）にかけて人々が生活していたことが分かりました。
特に古墳時代の遺構や遺物が多く見つかっています。

時代は徐々に変わるから、はっきりとした境界はないけど、「中世」は大体、鎌倉から安土・桃山時代を指すんだよ！



古墳時代の区分

前期 中期 後期

古墳時代は、3 世紀中頃から 7 世紀中頃の間で、古墳が全国各地に築かれた時代です。この時代は大きく、前期・中期・後期の 3 つに区分されています。



※貝徳寺古墳出土
人物埴輪



※カクチが浦 10 号墳出土
馬形埴輪



※貝徳寺古墳出土
家形埴輪



※貝徳寺古墳出土
壺形埴輪

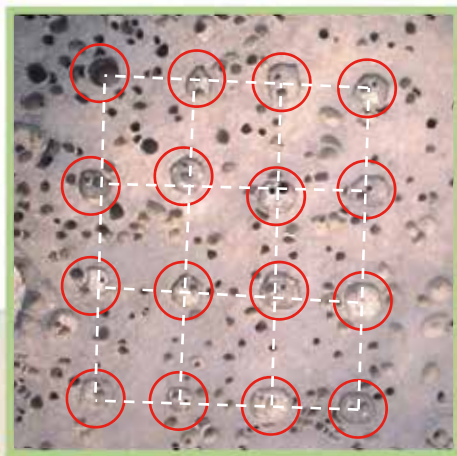
古墳時代の前期になるとよ！

古墳時代の中でも古墳時代前期が、仲遺跡群の中心の時代になります。古墳時代前期は、前方後円墳と呼ばれる古墳が日本各地で出現し、近畿地方（ヤマト政権）を中心として広域的に政治秩序が形成された時期（3 世紀中頃から 4 世紀末頃）です。この頃の仲遺跡群については、竪穴住居跡や掘立柱建物跡、井戸跡などが見つかったことから「ムラ」が形成され、このあたり一帯で昔の人々が生活していたことが分かっています。



ぼこだらけ!

53号 総柱建物跡



Point

ひときわ目立つ建物跡!

柱の穴の大きさが約1mもあり、かなり立派。当時の人々にとって重要な建物だったのかも。

中央の図は遺構がどの位置にあるか記録した平面図だよ! 遺跡の性格を知る手段の一つとして使われているんだ! 各遺構には「○号」と番号を付けて、分かりやすくしているよ。

2号 井戸跡



Point

土器がまとまって出土した!

土器の形や年代について考える上で貴重な発見。

ベッド状遺構は、人が寝たり、座ったり、道具を置いたりするのに使われていたと考えられているよ!

13号 住居跡

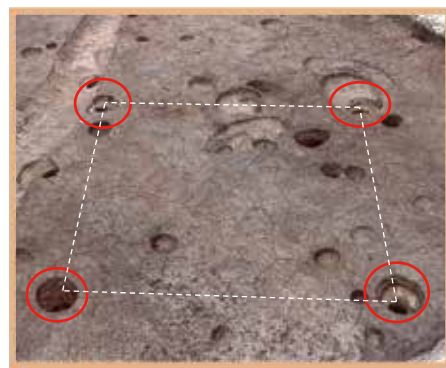


Point

他の住居と一味違う!

ベッド状遺構と呼ばれる、床面から一段高くなっている部分(2本の白線の間の範囲)を持っているのが特徴。

37号 掘立柱建物跡



Point

床面を地面から離れた建物(高床式^{たかゆか})!

湿度を抑えて、虫やネズミの被害を減らすことができるため、食べ物や布、木製品、お祭りの道具などを保管する倉庫としての役割もあった。

これは なんやろか？

- …縄文時代
- …弥生終末～古墳前期まで
- …古墳時代前期(4世紀前半)
- …古墳時代前期(4世紀後半)
- …古墳時代中期以降
- …古代
- …中世
- …不明

※各写真の枠の色は図中の時代の色と合わせています。

70号 住居跡



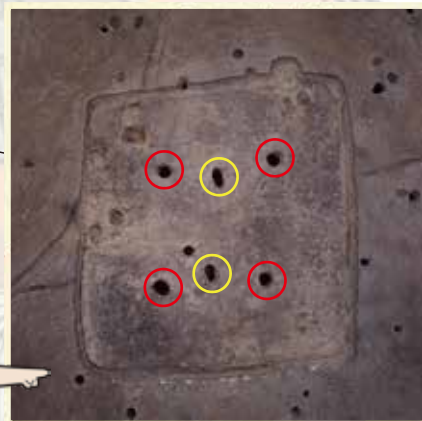
Point

大きい上にカマド(赤丸部分)もある！

一辺が約7mもある大型の住居で、
仲遺跡群の6回の調査で、
カマドが確認されたのは、ここが初めて。



9号 住居跡



Point

住居の移り変わりが分かる！

2本柱(黄)から4本柱(赤)へ。

弥生時代の終わり頃までは
2本柱が主流だったけど、
それ以降は4本柱になって
いくんだ。住居の移り変わりを
知る上で重要だね！



1号 井戸跡



Point

見事な完形品！

完形の土器が投げ込まれたように
出土したことから、お祭りが行われて
いた跡なのかも。

昔の人の生活の跡なんよ！

これらの穴ぼこは、発掘調査で見つかった家や
倉庫、井戸、ゴミ捨て場などの跡になります。

一見、ただの穴に見えますが、注意深く調査を行う
ことで、この穴から各時代の建物や人々の暮らしぶ
りを読み取ることができます。

ちょこっと

のぞこう！

北部九州地方(福岡)
●は那珂川市

山陰地方(島根、鳥取)
●は古墳時代前期の主な遺跡

交流



交流の Point

なんだか太鼓みたい！

これは島根県や鳥取県がある山陰地方さんいんの土器の特徴つづみがたきだいを持った鼓形器台です。

仲遺跡群からこの土器が見つかったことから、当時、他の地域の人々と交流をしていたことがわかります。

さいし 祭祀

高さ 6cm



祭祀の Point

ミニチュアサイズの土器がいっぱい！
日常生活で使っている壺や鉢だけでなく、鏡やまが玉をまねているとても小さい土製品が出土しています。
この小ささから実用品としてではなく、お祭りなどの道具として使われていたと考えられています。

これは土で青銅製の鏡を真似してつくっているんだ。真ん中にはつまみちゅう（紐）があり、ヒモを通すための穴が本物と同じようにあるんだよ！
住居跡で見つかっているから、住居を壊す時のお祭りで使われたのかもね。



まが玉

直径
4.3cm

長さ 3.5cm

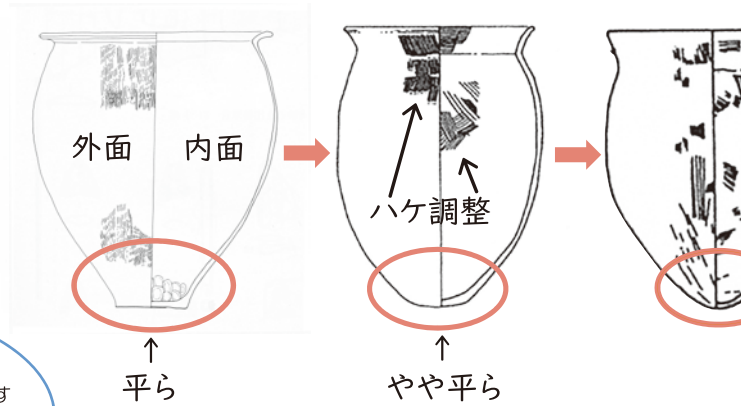
変化して

やよい
弥生時代

中期

後期

終末



底は平らで

後期から内面にもハケ調整！

底が尖

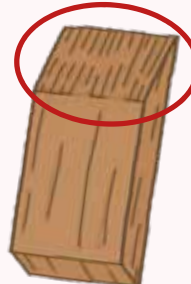
内面は

変化していく 土器の Point

土器の実測図から分けることがある！
仲遺跡群からは、古墳時代前期を代表します。外面のハケ調整と内面のヘラ一見、全部同じに見えますが、実は少しの土器の底の部分を見比べると、徐々

ハケのイメージ図

ハケ



現代のハケとは違い、木の正目まさめ（赤丸）を利用した板状の工具。土器の形を整え、最後の仕上げに使用した。

大昔の暮らし

いく 土器

土器をよく観察して
図におこす（実測）ことで、
写真では表現できない細かな調整
（土器をつくる時についた痕のこと）を
伝えることができるんだ！
実測は大変な作業だけど、出来上がった
図面（実測図）は歴史を紐解く上で、
重要なものなんだよ！

生活

古墳時代

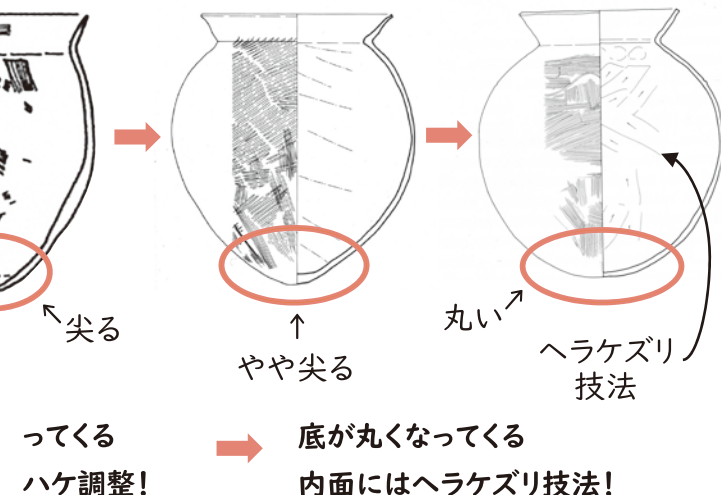


前期(布留式土器)^{ふるしき}

といし
砥石

矢じり

小玉・まが玉

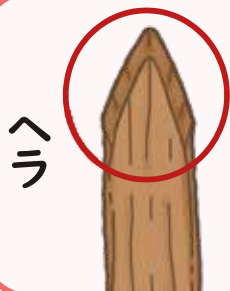
すき
鋤の先端

生活の
Point

何に使うものなのかな？

昔の人は権威などを示すために、小玉やまが玉などの玉類をつないでアクセサリーにしていました。その他にも狩りや農業をして生活をしていました。また、鉄器を研いでいた砥石には、ヒモを通して持ち運びがしやすいように穴があげられているものもあり、当時の人々の暮らしの工夫が分かります。

ヘラのイメージ図



木や動物の骨などでつくられたへう状の工具。土器の厚さを薄くするために使用された。

おわりに

仲遺跡群は6回の発掘調査によって、縄文時代から鎌倉・室町時代といった中世まで、人々が生活の場としていたことが分かりました。特に古墳時代前期前半から後半の遺構や遺物は、継続的に集落が営まれていることを示し、この場所一帯で、集落の移り変わりを考えることができる、大変貴重な発見となっています。また、他地域との交流や集会所、あるいはお祭りが行われたと思われる大型の建物を複数持つ、大集落であることも分かっています。

しかし、古墳時代後期になると人々の活動の痕跡がほとんど確認できなくなります。次に見つかった遺構や遺物は奈良時代のもので、古墳時代前期と比べてたくさん見つかっていないことから、活動の中心は別の場所に移っていると考えられます。

皆さん、いかがだったでしょうか？那珂川市には仲遺跡群だけでなく、他にもたくさんの貴重な文化財(=遺跡)があります。それらの重要な文化財を知るきっかけの一つとして、この冊子を役立てていただければ幸いです。



Let's enjoy history
together next time!

那珂川市の文化財 7 知っとる？ 仲遺跡群!!

発行: 那珂川市教育委員会 福岡県那珂川市後野1丁目5番1号

印刷: 有限会社 成光社 福岡県福岡市南区大楠1丁目29番33号